

事業所における自己評価＜児童発達支援＞結果(公)

討議年月日: 令和 4年 3月30 日

公表: 令和4年3月31日

事業所名 発達支援研究所スプラウト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		設置基準を遵守している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		設置基準2名以上を配置している	保育士、心理担当職員を配置し、ケアや保護者説明などを適宜行えるよう二している
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		コーナー、遊具の配置はいつも決まった配置にしている。	年齢に合わせて洗面台やトイレなどの踏み台、足台など調節している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		空気清浄機、加湿器等で室内温度や湿度を管理している	感染症対策として、常に換気に注意し遊具や教材、机、椅子は都度消毒している
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		年間計画、月間計画を作成している 毎日にミーティングを行っている	曜日により職員が異なるため、目標や振り返りを全体で周知、共有できるよう書面等でも確認した
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果をもとに業務改善に取り組んでいる	日々の保護者面談でも保護者の意向を伺い、必要な改善を行っている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		戸別配布や事業所ホームページにて掲載、公表している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実施を検討中	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修やケース検討会を実施	外部研修への参加も含め研修計画を作成する
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		標準化された心理・発達検査、行動観察等により支援計画、課題設定を行っている	個別のニーズや日々の療育の様子などを加え子どもを立体的に把握している
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		田中ビネー-V、WISCIV、SM生活能力検査等を用いている	太田ステージ評価も参考にしている
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに準拠している	支援計画は6ヶ月に一度以上の頻度で見直している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って支援している	日々の相談や療育、ケース検討会などにより適宜見直し・修正を行っている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		グループ毎にミーティングを行い、活動プログラムを立案実行している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続プログラムも内容を工夫し変化を持たせている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状態やニーズにより適宜組み合わせている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼ミーティングを必ず行い、一日の予定や動きを確認している	各グループ開始前にミーティングを行い、活動や準備、動きの確認をしている
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業ミーティングを必ず行い、ふり返しを行い、次週の内容に反映。	出席できない職員には連絡板等を用いて情報の共有を確実にしている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の書き方等の記入例を周知している	グループミーティング等で記録をもとに検討し検証・改善に活かしている
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画は最低6ヶ月に一度見直している	見直しにあたっては、保護者の意向やアセスメントも参考に支援計画の見直しをしている	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当職員、療育アドバイザー、児発管が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の了解のもとで必要な連携を行っている	保護者の要望や利用圏の要望に応え、園や学校(学級)訪問も実施している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要請・承諾により就学支援シートや意見書を作成している	保護者や園、学校からの要望により、保護者の承諾を得て情報の共有、相互理解を図っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		同上	同上
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		こども発達支援センターの専門職による研修を企画	今年度はコロナ対応のため実現できなかったので次年度は実施したい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	機会がない	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		練馬区の事業者連絡会や近隣地域のネットワーク会議に参加	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の療育前後に面談を実施し、課題とねらいについて共通理解ができるようにしている	療育アドバイザーによる相談を適宜行っている
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		来所時の面談の他、保護者学習会、懇談会を実施している	ペアレントトレーニングを独立したプログラムとしては実施していないが、面談、相談などの機会をとおして支援している
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回相談や利用契約時に説明を行っている	変更があれば随時伝えている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援ガイドラインに準拠している	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて事業所内相談支援も行っている	上記30と同様
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同士の連携は直接の目的ではないが、懇談会、学習会を実施している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		重要事項説明書に内部窓口を記載するとともに「お知らせブック」に窓口一覧を記載。苦情ポストを設置している	玄関には左記の他、苦情対応の流れ図や虐待対応図など掲示して分かりやすくしている。苦情対応マニュアルを整備している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動の概要や行事予定等を記載した「スプラウト通信わくわく」を2ヶ月毎に発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵つき書庫の設置して管理	個人情報の入った書類の扱いについて職員に周知徹底している。連携等では保護者の承諾を得ている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの特性、発達に応じて視覚支援を行う他意思疎通ツールを増やしている	さらに効果的なツールを開発していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地元商工会に所属し商店街の行事に参加している	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	各種マニュアルは作成している 緊急時対応も図版にして配布	感染症対応に関して研修と書面での対応を徹底している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	グループにより実施	全員に対して避難訓練が実施されるよう計画している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	現況調査票等で確認している	予防接種の状況も記載できるように検討中
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	現況調査票等で確認している 他、医師の指示書等の提出をお願いしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	各ミーティング時に共有し、記録に残す。	事例集を作成し、職員研修で活用する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止委員会が設置されている。 パンフレットの掲示等	パンフレットの掲示や配布、人権に関する職員研修を実施していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	基本的に身体拘束は行わない	本人や周囲の人に危険が生じる場合で身体拘束しか予防手段がない場合には、態様や理由、経過を保護者に説明するとともに記録に残します

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。